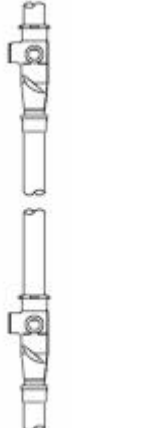
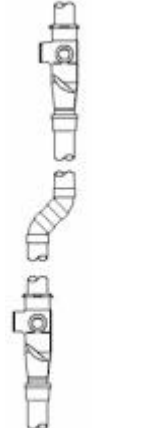



## どう対処する？ 中層階のオフセット

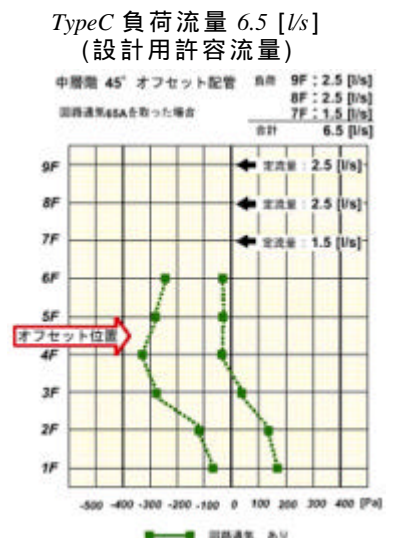
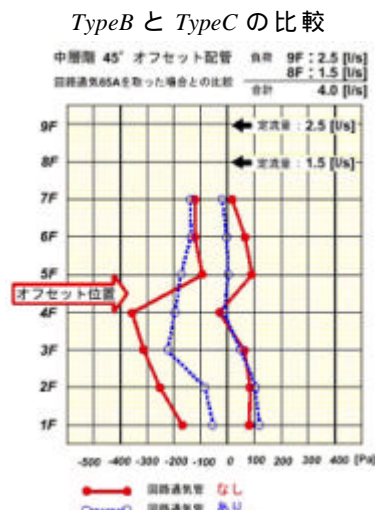
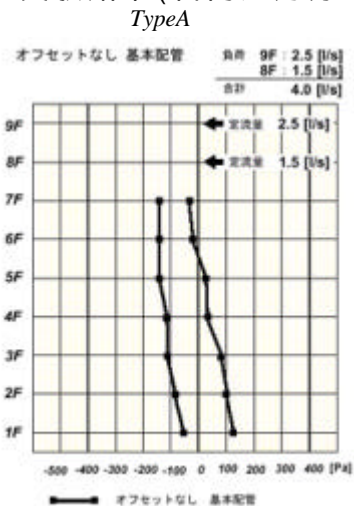
排水立て管のオフセット部では、通気機能の障害が起こりやすく、適切な対策が必要となります。既報では上層階のオフセット配管(2001.1.15号：[www.kojima-core.co.jp/20010115report.html](http://www.kojima-core.co.jp/20010115report.html))と下層階のオフセット配管(2000.7.31号：[www.kojima-core.co.jp/20000731report.html](http://www.kojima-core.co.jp/20000731report.html))について報告しましたが、今回は中層階で45°のオフセットを設けた(となった)場合に、排水性能がどう影響を受けるか、当社排水実験タワーでの実験結果を報告します。

### 中層階オフセット配管時の管内圧力分布

実験条件 水実験タワーの5Fと4Fの間に、オフセットを設け、以下の条件で実験を行いました。

Type	A	B	C
	ストレート オフセット無し	45° オフセット	45° オフセット+回路通気
オフセット 配管形態			
供試継手	CP 60K100 x 80 (L)		
立て管径	100A		
オフセット位置	5F と 4F の中間		
横主管径	125A (LJ-K100 x 125)		
横主管形態	水平 2 曲がり (2,500mm + 2,500mm)		
排水負荷	定流量 4.0 [l/s] (9F : 2.5 [l/s]、8F : 1.5 [l/s]) 定流量 6.5 [l/s] (9F : 2.5 [l/s]、8F : 2.5 [l/s]、7F : 1.5 [l/s])		
試験方法	HASS218「集合住宅の排水立て管システムの排水能力試験法」に準拠		

### 実験結果(管内圧力分布)



詳しくは当社技術資料 2000-9 版 P20「社内実験の結果得られたオフセット配管設計上のチェックポイント」によって下さい。

関連リンク / 上層階のオフセット・下層階のオフセット・ダッキング配管